



生きるを楽しむ



SDGs 未来都市
西栗倉村

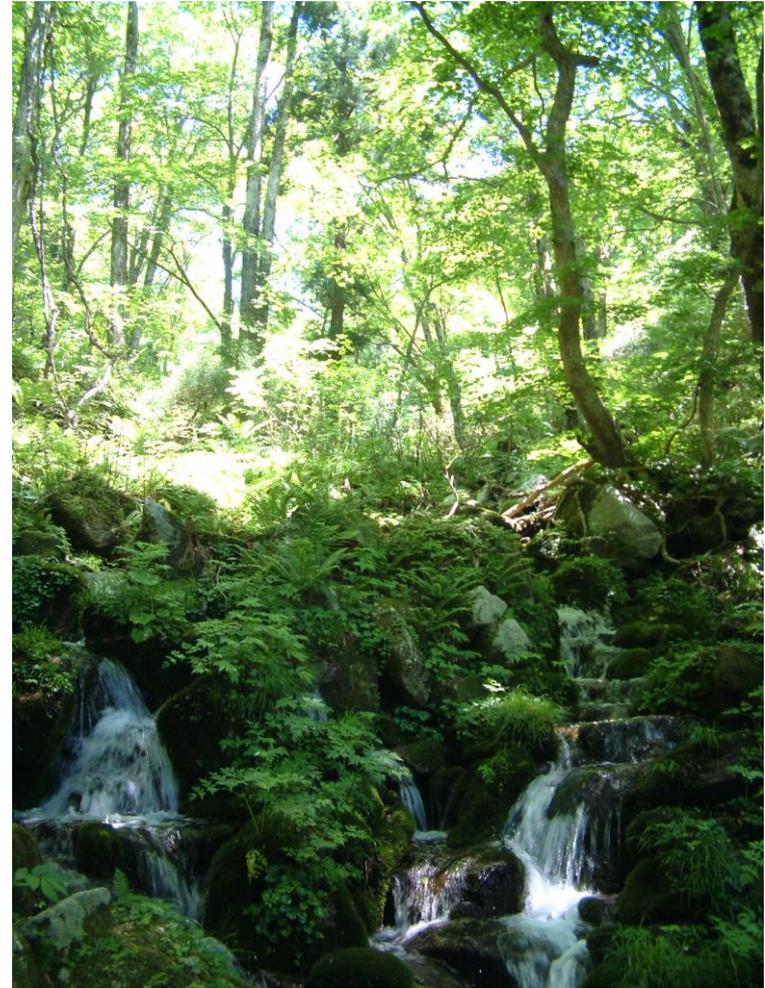
西栗倉村のゼロカーボン政策

再生可能エネルギーで地域経済と雇用創出する

西栗倉村 地方創生特任参事 上山隆浩

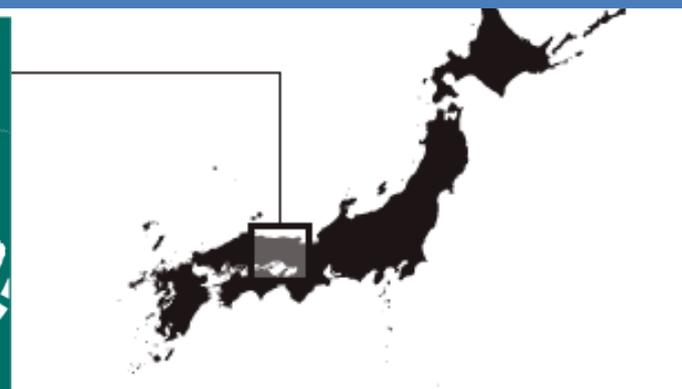
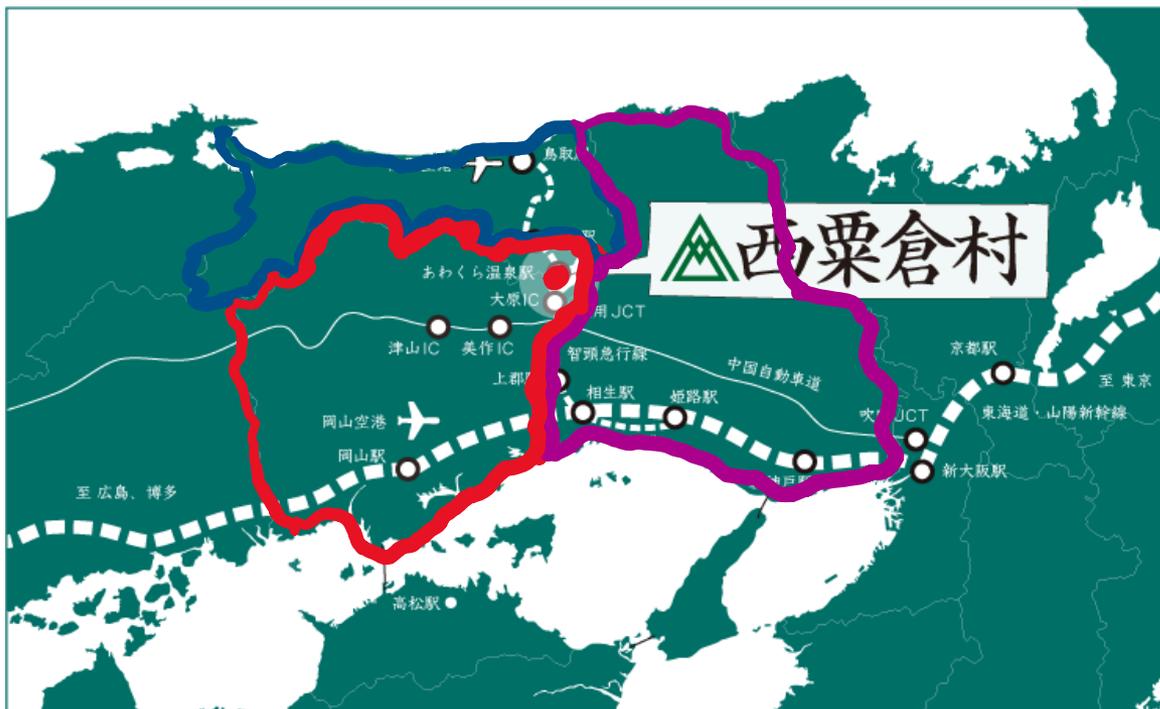
■ 発表の概要

西粟倉村は岡山県の東北端部にある人口1400人の村である。「平成の大合併」を拒否し、自主自立の道を選択した。2058年に「上質な田舎」になることを目指した「百年の森林構想」を着想し、多様なローカルベンチャーと協働して森林の集約化による適正管理と木材の付加価値化に挑戦している。また、再生可能エネルギー導入にも積極的に取り組み、低炭素な地域づくりと地域内資源循環を起こしている。このような村のビジョンと取組は、村に多様な人材を呼び込み、産業の多様化や関係人口の拡大につながっている。



吉井川源流 若杉天然林

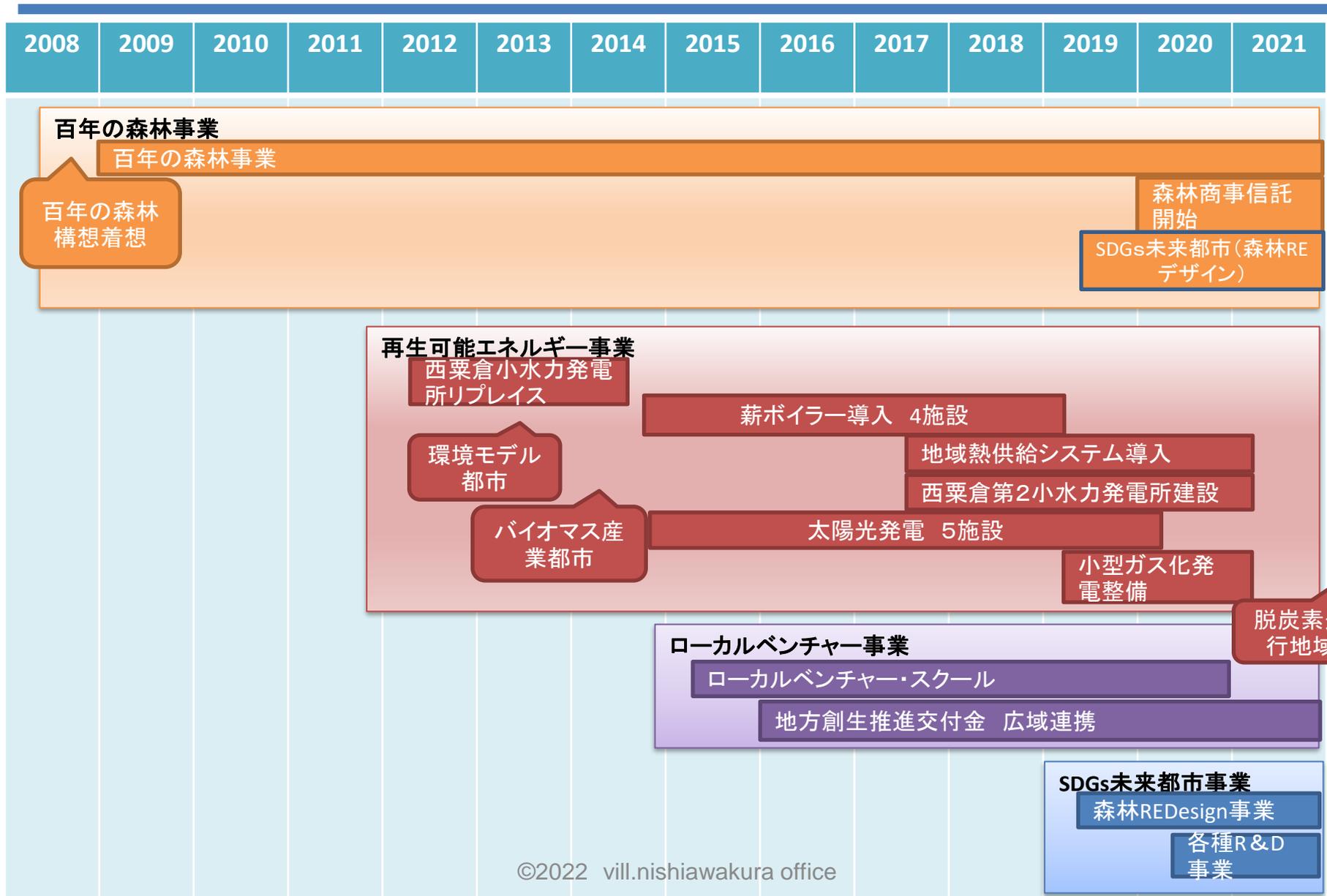
■西栗倉村の紹介



人口1,384人/597世帯
高齢化率37.24(R4.3)

- ・面積:57.93km² **内93%が森林** そのうち84%が人工林
- ・標高:263m~1280m
- ・気候:年間平均気温11度、
年間平均降水量約2000mm
- ・交通:車で岡山県庁2時間鳥取空港50分
神戸1時間30分(高速) 大阪2時間(高速)
特急→新幹線で東京まで 最短 4時間30分
鳥取県・兵庫県と隣接して因幡街道(山陰・山陽の動脈)

■これまで15年間の経緯



■西粟倉村のこれまでの取組

Point 1

50年先のビジョン

- 「百年の森林に囲まれた上質な田舎」
- 衰退する一次産業にフォーカス
- 自治体のチャレンジ

自治体(西粟倉村)

- 森林施業(補助事業)

民間(西粟倉・森の学校)

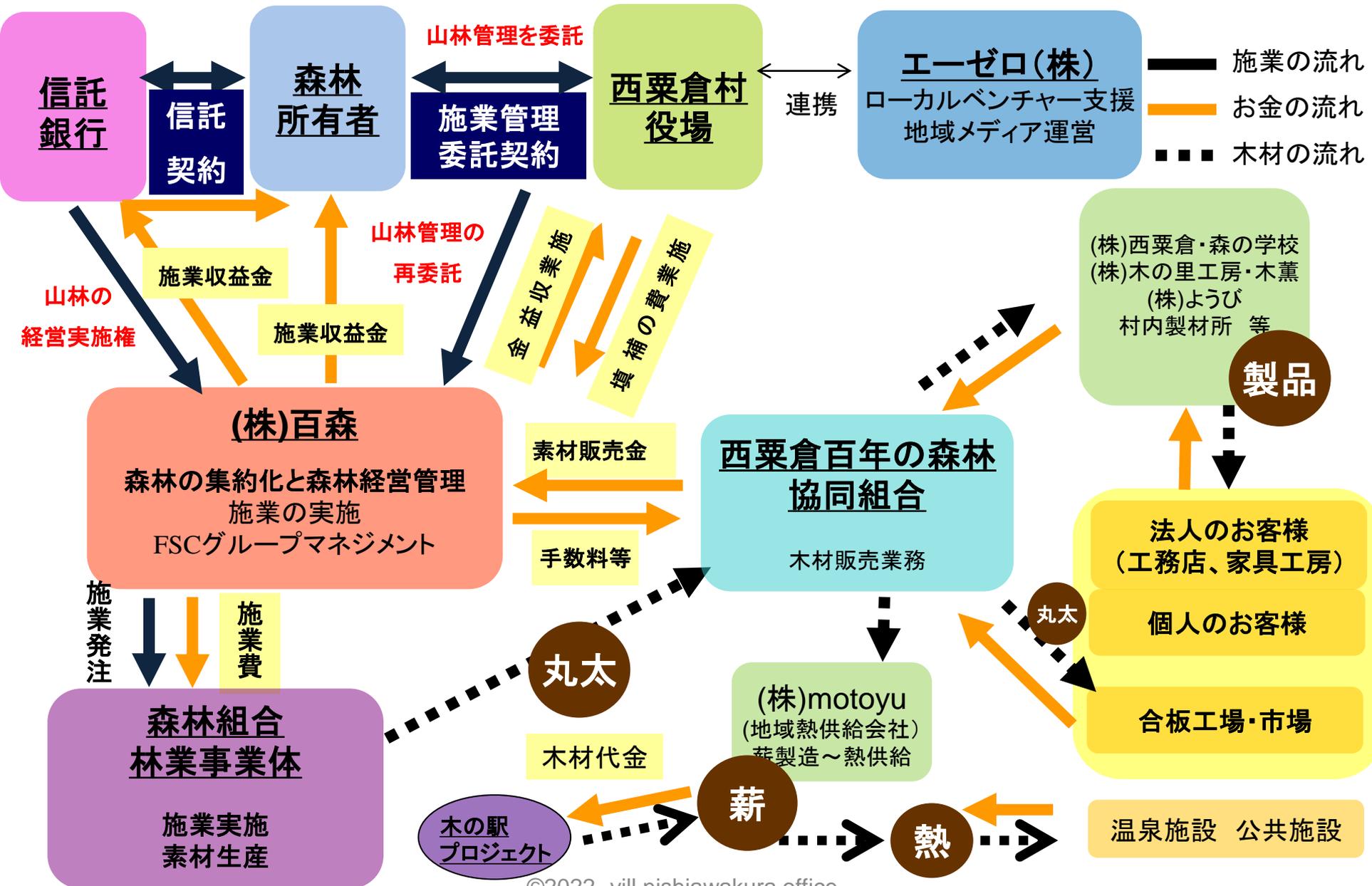
- 林業6次化
- 付加価値の添加

百年の森林構想

- 共感
- 共有
- 発信力
- 見える化



森林資産をデッドストックにしない取組



「百年の森林事業」の契約内容

「西栗倉村森林長期施業管理に関する契約」契約内容抜粋

○契約森林は「森林経営計画」に参入。

→補助金、交付金など金銭的なメリットが受けられる。

○契約森林は「FSC認証制度」に参入。

→FSC認証に加入することで材に付加価値をつけることができる。

○契約森林は「CO₂吸収源販売制度」に参入。

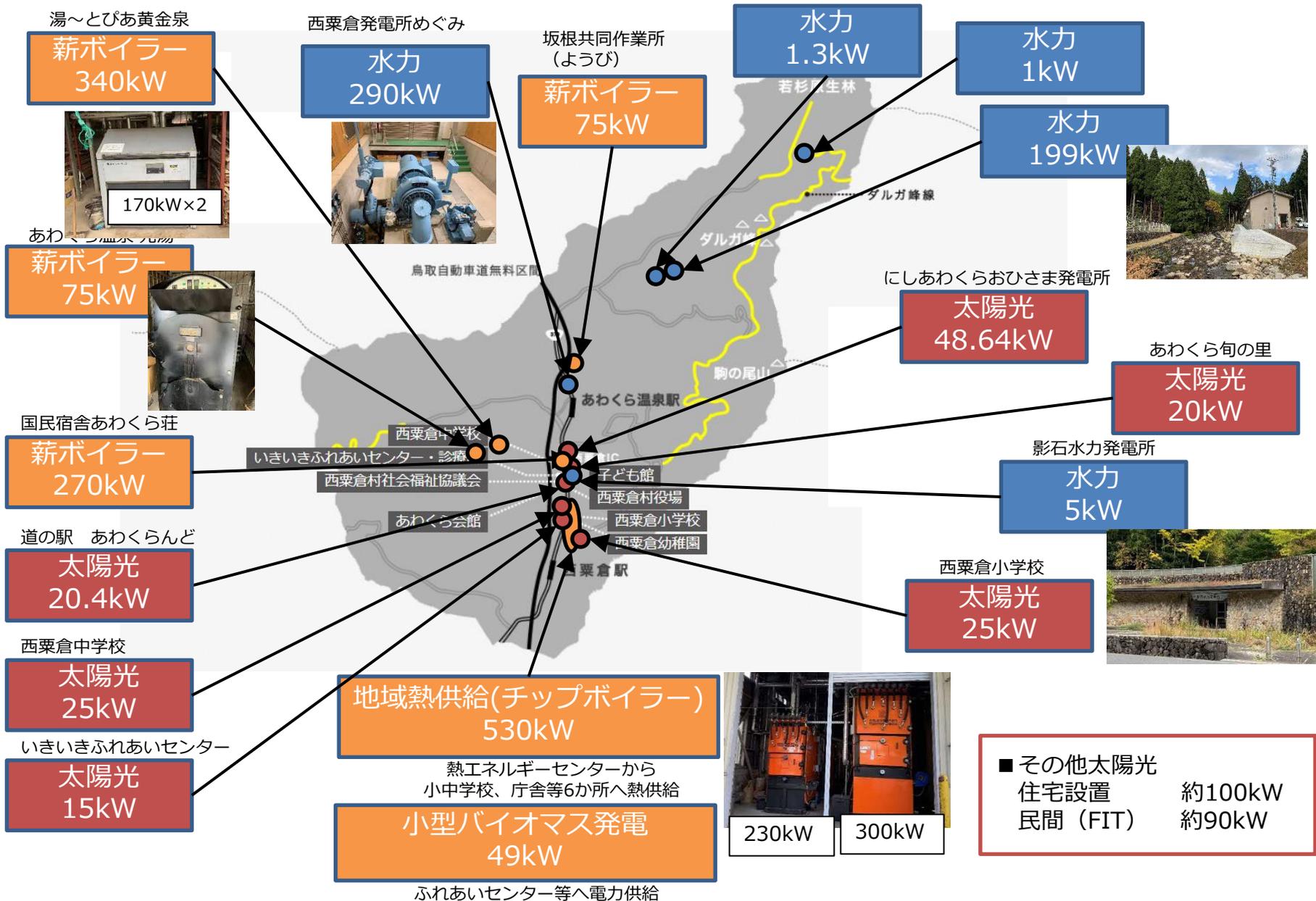
→販売収益は施業費用等に活用される。

○事務や施業に係る費用は全額負担。（村の一般財源と国・県補助金）

丸太販売収益は村1/2、所有者1/2の割合で折半。

Point2

脱炭素先行地域・環境モデル都市



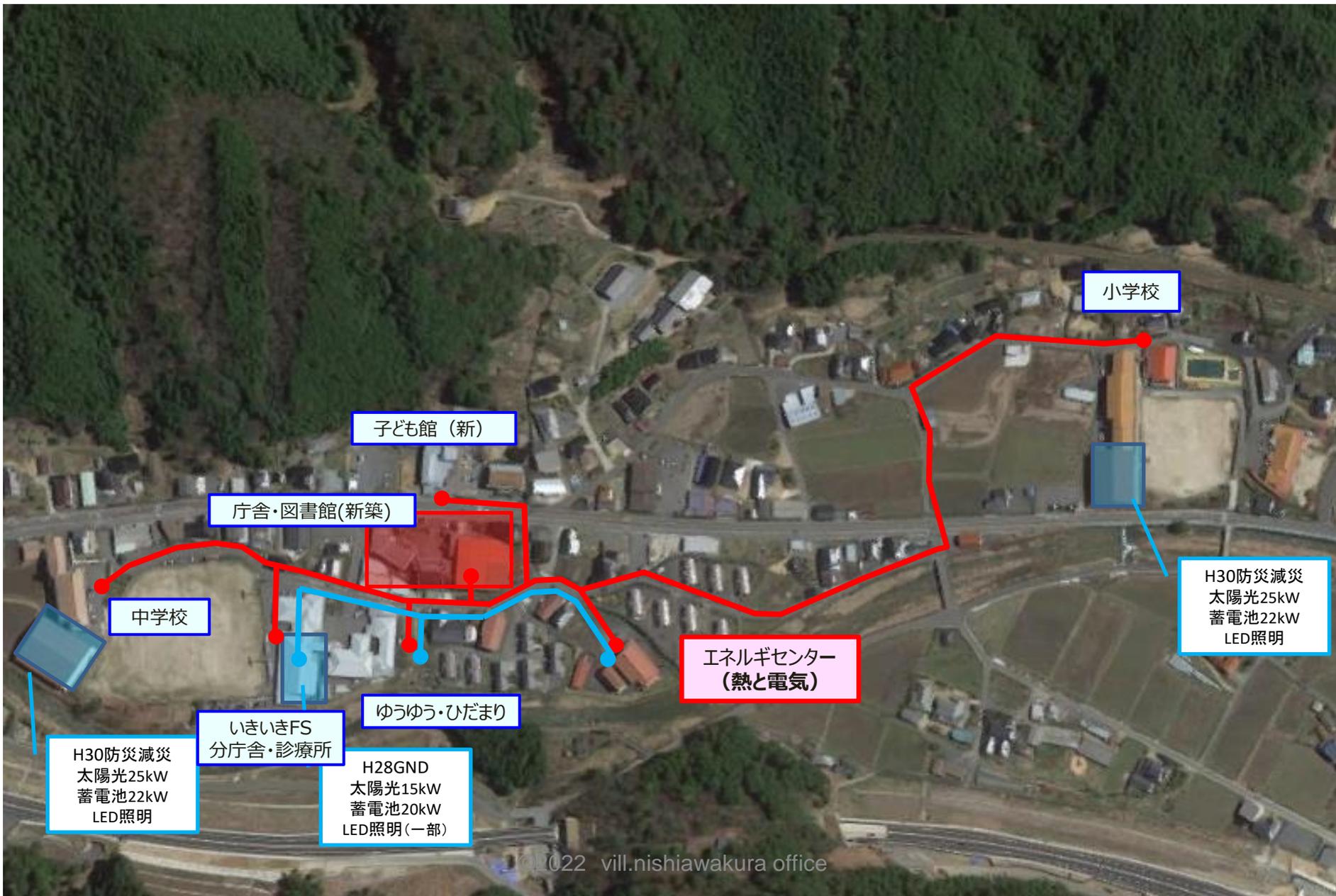
「百年の森林事業」の間伐材の流通



村内温泉施設3か所へ木質バイオボイラーの導入



森林をエネルギー資源として活用する



公共施設6か所の木質バイオマス地域熱供給システムの導入

蓄熱タンク (175m³)



木質チップボイラー



熱導管



小型バイオマス発電(自立発電)



ガス化システム



ディーゼルエンジン



自営線

発電出力：49kW
平常時：自家消費
災害時：避難所空調電力
エスぺ社製(イタリア)

森林がもたらす水をエネルギー資源として活用する

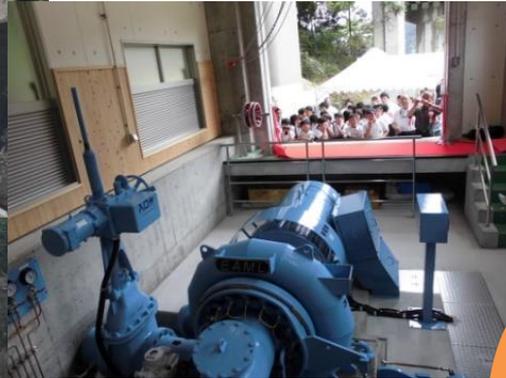
流域面積 1850^{ヘクタール}

使用水量 0.95^{m³/SEC}

(3か所)

発電出力最大 494KW

年間発電量3,635,000kwh



ゼロカーボンに取り組んできた直接的効果



経済

- エネルギー収入:水力発電 111,000千円
バイオマス 29,000千円
- C材未利用材収入:1,600t 10,400千円
- 林業・木材加工事業売上: 1億円→12億円



環境

- 森林の年間二酸化炭素固定量:34,000t - CO²
- 年間二酸化炭素削減量:3,150t - CO²



雇用

- 林業・木材加工関連事業新規就業者数:110人増
- 木質バイオマスエネルギー事業新規就業者数:4人



森林

- 森林の集約化面積:2,683ヘクタール
- 2009年からの整備面積 1,900ヘクタール
(安全な森林面積が拡大)

多様な「産業クラスター」

Pioneer
木工

木 薫
西粟倉・森の学校
ようび

木工

関野意匠室＋絡操堂
mori no oto
Kodama
フレル
尾崎漆工房

医療福祉

中間支援等

エーゼロ
ようび
sonraku

いとう歯科クリニック
こじか助産所
ネ
Social Animal Bond

教育

にしあわくらモン
テッソーリ子ども
の家
NEST
ほんまもん

エネルギー

Sonraku
Motoyu

森林計画

百 森

衣・小物

UKIYO
SOMEYASUZUKI
SIBUYA靴
MAMO
SAOL

不動産

クラシカ
エーゼロ

福祉

じゅ〜く

森林整備

青 林
岡田林業
清 勝

デザイン

nottuo
ようび
西粟倉・森の学校
Nabeshima Design

建築

ようび
エーゼロ

食

Ablabo
フレル食堂
maison de frouge
エーゼロ
くんちでん
チーズ観光協会
おさじ
喫茶サーナの家

酒屋

酒うらら

宿

元湯
軒下図書館
天徳寺
あるの森

コンサルティング

げんこつ
野々企画
Forest Eye
エーゼロ

万屋

小松組

ジビエ

エーゼロ
野々肉
ES

研究

むらまるご
と研究所

You tuber

リサイクルからアップサイクルな地域政策への展開

西粟倉村は近年、地域に根ざしたビジネスを展開する「ローカルベンチャー」の集積地として注目を集めています。

ローカルベンチャーとは、「自分の視点を持ち、見落とされていた地域ある宝物を上手に発見して仕事をつくる。」起業のことで、これまでに50社が起業しています。

西粟倉・森の学校



sonraku

多様なLVの出現

22億円

新規雇用創出

221人

木薫



8億円

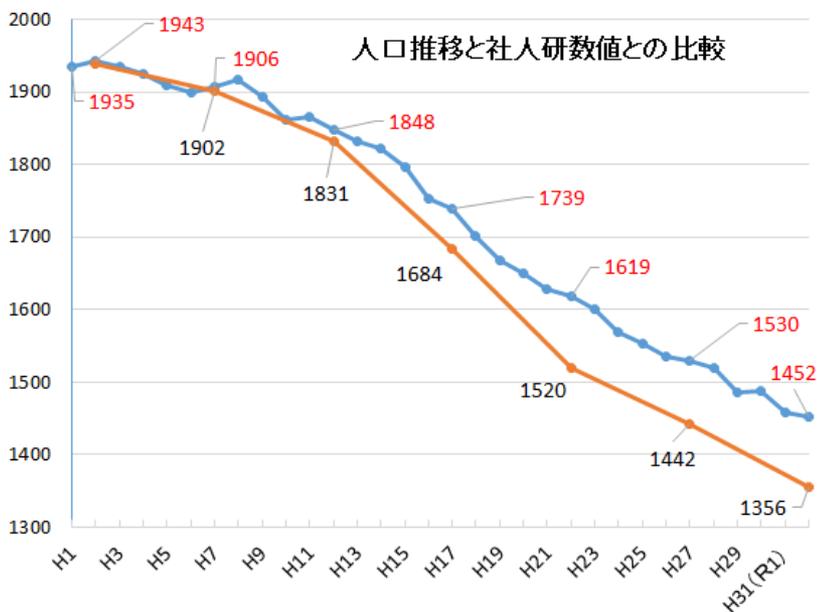
youbi
経済規模

100億円の企業誘致より1億円のLV100社

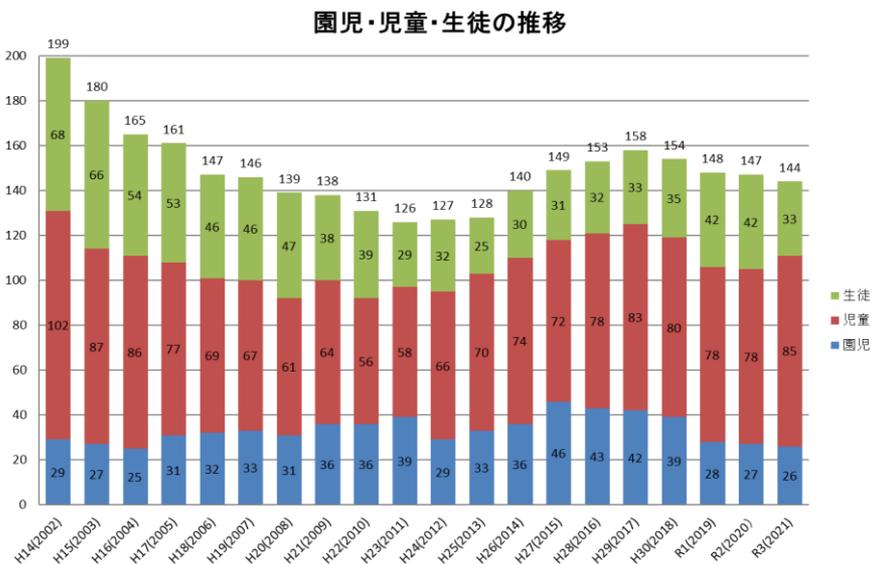
西粟倉村のこれまでの取組の成果

Point4

人口減少を食い止めてきている



—人口(各年1月住民基本台帳人口) —社人研(H25.3推計)



【全体】

	実際	予測	差
2005年	1,684		
2010年	1,520	1,550	-30
2015年	1,472	1,426	+46
2020年	1,398	1,298	+100

【15歳未満】

	実際	予測	差
2005年	184		
2010年	163	138	+25
2015年	191	116	+75
2020年	178	98	+80

国立社会保障・人口問題研究所『日本の市区町村別将来推計人口』(平成20年12月推計)と実際の人口の差を見ると、当時の予測からはプラス100人、特に15歳未満の子どもたちが+80人と8割増しとなっている。

■ゼロカーボンの視点から見た持続可能な地域づくり

13 気候変動に
具体的な対策を



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



15 陸の豊かさも
守ろう



百年の森林事業

再生可能エネルギー事業を中心に地域内資源循環を起こす

再生可能エネルギー事業

[百年の森林構想]を基本理念として林業にチャレンジする

地域に多様な人材を呼び込み産業の多様化や関係人口の拡大をさせる

ローカルベンチャー事業

©2022 JIL Chiyawakura office

11 住み続けられるまちづくりを



4 質の高い教育をみんなに



3 すべての人に健康と福祉を



■ゼロカーボンを活用する新しい地域の視点 温暖化対策→地域の安全保障政策

エネルギーの安全保障



11 住み続けられる
まちづくりを



西粟倉村
百年の森林
構想

西粟倉の
森林の
100年

50年生を
迎える
現在の西粟倉村の森林

私たちが目指すのは、
これから50年後の森林。

1年

25年

50年

75年

100年

3 すべての人に
健康と福祉を



気候変動対策



食料の安全保障

13 気候変動に
具体的な対策を



Brighten our Forests,
Brighten our Life,
Brighten our Future!!



生きるを 木 しむ

西栗倉村

